

## 【市民建設常任委員会所管分】

No.	属性	所管課	要件	意見・要望・質問	調査結果
1	生徒	農林水産課		耕作放棄地やちょっとした隙間で栽培できるようになると農家にとっては少し収入が増やせるようになるし、三豊市産の薬用作物が普及し始めると、三豊市の人たちの健康への興味や関心が高くなり、健康でいきいきとした三豊市になると市長が講演でおっしゃっていた。少しでも力になれるように頑張りたいと思う。	<p>三豊市の基幹産業である農業は、有害鳥獣による被害や担い手不足による耕作放棄地の増大等、その取り巻く環境は年々厳しさを増している。</p> <p>市は新たな施策として薬用作物の産地化に取り組んでいるが、その中で、薬用作物の栽培技術の確立に向けて、笠田高等学校の皆さんが大変熱心の実証栽培に取り組まれていることは、ありがたく感じている。また、除草や防除等の点で、すでにいくつかの課題を把握し、その解決に取り組まれていることに対し、大いに期待するところである。</p> <p>市内に笠田高等学校のような農業学校があることは三豊市の大きな強みであり、基幹産業である農業の分野において、今回のような官学連携を進めていくことは極めて重要である。特に、若い世代の発想力と行動力は、今後、三豊市の農業を活性化させるために必要不可欠なものである。</p> <p>議会としても、薬用作物についての調査研究を引き続き進めていくとともに、笠田高等学校の皆さんの取組みに対する必要な支援、協力を執行部に働きかけていきたい。</p>
2	生徒	農林水産課		薬用作物は、病気を治したり病気にならないようにするために使用されるため、食料品である野菜の栽培より気を遣う。	
3	生徒	農林水産課		今は栽培環境を知るために、気温や土壌水分などを測定している。データも重要だが、栽培に係る手間を少しでも省けるようになれば良いと思っている。片手間で薬用作物が栽培できるようになればもっと普及できると思う。	
4	生徒	農林水産課		今は市の農林水産課の方たちと連携して栽培に取り組んでいて、予算の面や外部の人との連携をはかっていただけているので、学校だけではできないことに挑戦できることにメリットを感じている。	
5	生徒	農林水産課		ヤマトトウキやミシマサイコを作ってみて、初めはとても苦労して苗が育つまでは時間がかかったが、それからは順調に育って、しっかりと管理をしてあげれば誰でもたくさんの収穫量を取れると思う。	
6	教諭	農林水産課	薬用作物の実証栽培	去年は、春蒔きではうまく育たなくダメで、秋蒔きにするとうごく育ち始めた。秋に蒔いた方が、草が茂らないのでその分よく育ったのではないかと。近所の農家の方もミシマサイコを育てているが、秋蒔きの方ががかいなどよく言われている。もしかすると香川県には秋蒔きの方が合っているのかも。ただ、春蒔きでも手間暇さえかければ、普通に秋に収穫できるとも言われる。どちらが良いかを今、実験している。	
7	教諭	農林水産課		福田商店（生薬問屋）独自の防除液をもらっているが、使用を認められている農薬が非常に少ない。キアゲハの幼虫が最大の敵だが、それに対して効果があるものが1種類か2種類しかなく、ほとんど手による防除となって、それが一番のネックだと思っている。その辺りがもう少し手軽に育てられるようにならないと普及はしないと思っているので、マルチを使った防除方法でもっといい方法がないかを来年度に向けて考えていきたい。	
8	教諭	農林水産課		草に負けない苗づくりは必要で、今年、シャインマスカットの下で、ポット栽培で苗を育てていて、そういう限られた空間だと、除草ものすごく簡単だし、日陰にもなるし、上にはシャイン、下には薬草がなっているというのを見た目的にもいいのでやってみている。今はマルチがダメと言われていて、藁を敷いて昔ながらの農業をしているが、それでは人手が必要となる。うちの学校のように生徒がたくさんいればいいが、農家はそうはいかないのでそこが一番難しいと思っている。	
9	教諭	農林水産課		三豊市と笠田高校との連携により、生徒が外に出て活躍できることで生徒たちが自己肯定感を得られている。非常にありがたい。	

10	生徒	建設港湾課	道路	電車通学しているが、本山駅周辺の道で少し狭いところがあるので、いずれは広げて欲しい。	県道観音寺普通寺線においては、県が以前から計画を作り拡幅工事を実施している。少しずつ進んではいるが、事業の進捗に向けて、県に対する働きかけを行っていきたい。
11	教諭	都市整備課	交通安全	高校から農場に行く間にある国道11号線の赤信号が2分間という長い時間なので、もう少し短くしてほしい。	国道の拡幅工事に合わせて、国道の下に歩行者や自転車が通行できる通路の整備する予定とのことである。完成すれば、横断歩道で長時間待たされることなく学校と農場の行き来が可能となる。
12	教諭	農林水産課	イベント	コロナの影響で、従来行っていた校外販売（軽トラ市）の機会が奪われてしまっている。なかなか厳しいところではあると思うが、中止してしまうのではなく、延期や縮小ということも検討していただいて、校外販売の機会の確保をお願いしたい。	軽トラ市は運営を民間の実行委員会が担っているイベントであるが、行政として必要な支援は行うべきと考えている。
13	教諭	環境衛生課	官学連携	これまで、市の方からは生ごみリサイクルといった色々な情報を提供していただき、生徒がそれに対する活動ができることをありがたく思っている。今後とも何かあれば本校に提案をいただきたい。	行政側にとっても官学の連携は非常に重要な取組みであり、今後とも積極的に取り組むべきと考えている。
14	教諭	都市整備課	道路	本校と農場が1キロ離れている。現在11号線の拡幅工事をしており、以前と比べるとさらに幅が広い国道を横断して農場に行くことになる。それに関して、学校から農場までの市道についても、近々整備いただけという話も聞いている。国道の下を通すような計画で聞いているが、少しでも早くできればありがたい。	該当工区の4車線化の完了予定は令和5年春頃とのことであるが、国道の下に歩行者や自転車が通行できる通路の整備する予定とのことである。